

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
家庭・家庭基礎	普通科2年	2	Agenda 家庭基礎 (実教出版)	生活学 Navi 資料+成分表2024 (実教出版)
科目の概要と目標		生活様式の多様化が進む現代社会において、主体的に生活を営み、生活の充実向上を生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。		
単元	学習内容	到達度目標		
1章 自分・家族	<ul style="list-style-type: none"> これからをどう生きるか 青年期の自立 社会の変化と家族 家族・人生・生き方と法律 多様な課題を抱える家族・家庭 	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の意味と自立への課題について理解し、今後の人生選択に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。 家族や家庭生活のあり方に関心を持ち、家族法と今後の課題について理解したうえで、多様な生き方を尊重し、協力して社会を築くという考え方を身につけている。 仕事における社会問題を通して、誰もが働きやすく暮らしやすい社会について考えようとしている。 		
6章 衣生活	<ul style="list-style-type: none"> 衣生活を見直す 衣服の機能と着装 衣服の材料と成り立ち 衣服の管理 これからの衣服 	<ul style="list-style-type: none"> 衣生活をより豊かで充実したものにするために知識や技術の習得に意欲的に取り組もうとしている。 衣服の機能・材料・管理方法などについての基礎的・基本的な知識を身につけている。 自らの衣生活について流行・個性・環境・健康・安全などの関係で問題や課題を見いだすことができる。 		
ホームプロジェクトと家庭クラブ活動	課題解決学習	家庭科の学習で学んだことを活かし、課題解決のための過程を組み立て、それを発表することができる。		
5章 食生活	<ul style="list-style-type: none"> 食べることを通して 栄養と食品 栄養素のはたらきと食品の栄養 食品の選択 食品の取り扱い 食品の安全性 食事をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 健康の維持増進や、精神的な豊かさを含めた食生活について興味・関心を持ち、食に関する知識・技術を習得し、改善のための考察や行動に意欲的に取り組もうとする。 バランスのよい食生活を理解し、栄養素の種類と特徴、食品の保存や食中毒など、基本的な知識を身につけている。 調理実習において、調理のための技術が習得できており、献立を考え、食品を選び、調理をするなどの行動ができる。 		
2章 子ども	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心とからだの発達 子どもの生活 子どもと遊び 子どもの育つ環境と社会 子どもの権利と福祉 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや子育てに関心を持ち、子どもを取り巻く地域の人間としてあるいは将来の親として子どもが健やかに成長するためにはどのようにしたらよいか意欲的に考えようとしている。 子どもの身体的・精神的発達や子どもの生活に関わる基本的な知識について理解している。 子育てに関する制度などを理解し、子どもを取り巻く環境の変化に関連させて考えることができる。 		
3章 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を知る 高齢社会の現状と課題 高齢者の尊厳と自立の支援 高齢者を支える制度としくみ 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の尊厳や人権について理解し、高齢者の生活支援に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。 高齢者の心身の特徴や生活、高齢社会の現状、福祉制度などを理解し、それらについて基礎的・基本的知識が身につけている。 		
4章 社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> 生活を支える福祉と社会保障制度 共生社会の実現に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉と社会保障制度、その他の支援の内容を理解し、それについての基礎的・基本的知識を身につけている。 共生社会のあり方とノーマライゼーションなどの基本概念を理解し、それらについて基礎的・基本的な知識を身につけている。 		
7章 住生活	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの選択 ライフスタイルと住まい 住まいの安全・安心 環境共生の今・昔 住まいづくり・まちづくりへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全・快適な住環境や地球環境について基礎的・基本的な知識を身につけている。 伝統的な住まいの工夫や環境負荷の少ない住まいの工夫について理解している。 住まいの選択・管理・改修の方法、地域社会への関わり方を判断する力を身につけている。 		
8章 消費・環境	<ul style="list-style-type: none"> お金の管理とライフデザイン 暮らしと経済のかかわり 意思決定と契約 購入方法の多様化 消費者問題 消費者保護 持続可能な社会をめざして 	<ul style="list-style-type: none"> 家計の管理、家庭経済と国民経済の関わりについて基礎的・基本的な知識を身につけている。 契約の原理と消費者信用の内容を理解しており、支払い方法の適切な判断ができる。 消費をめぐるトラブルについて解決方法や手段を身につけている。 自らの生活や消費行動の環境への影響に関心を持ち、持続可能な社会の実現に向けて主体的で責任ある行動をとろうとする。 		
生活設計		これまでの学習で学んだことを活かし、主体的な生活設計の検討ができる。		